

「枝」と「枝」

春粧の誠にのどかな、よい季節となりました。皆様には一層ご清祥の事とご拝察を申し上げます。

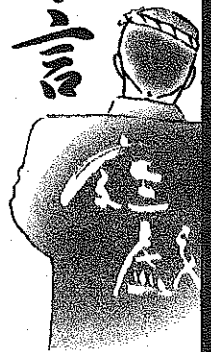
昨年より「竜門園かわら板」を発刊させて頂いておるところですが、お客様よりご好評を頂いており嬉しく思っております。本年も季節にあった緑の管理方法やイベント情報をお送りしたいと思っておりますので、ご笑読頂ければ幸いに存じます。

木々の枝先には、はち切れんばかりの新緑の芽がふくらみ、もはや遅しと芽吹きを待ち望んでおります。そこで今回は「枝の心」と題してお話をさせていただきます。

木を支えるのが「枝」で、手で支えるのが「枝」ですが、我々緑に携わる関係者は先入観や枝に頼るのではなく、木を支えている「枝の心」で取り組むべきと漢字の組合せは教えているのだと思っております。植物は物言わぬ生き物ですが、とてもデリケートで微かな表情で喜怒哀楽を見せています。桜の花などは毎年微妙に色が違います。7~8月に花芽分化して秋に落ち葉をし、40~50日間低温にあうと成熟します。気温と湿度によって開花をするのですが、気候の小さな変動で花の色が毎年違うのです。そして育てあげたり、撫でてあげただけで開き具合も違ってきます。又、木々の節間(枝の間隔)の長短がありますが、長い節間の時は雨の多い年、短い時は天候が良くない年などを知る事が出来ます。それだけ真正直な生き物に対峙するには小手先では大変失礼にあたります。庭を造る時などは樹木の根を切り、枝を切って移植をしますが植物にとっては大きな痛手です。商品として扱うのではなく、人間よりも先輩の生き物として敬意の心で新天地に移してあげています。そんな「枝の心」で取り組む事によって、庭の表情や成長が著しく違って来ると確信をしております。私自身の歩みも沢山の方々に支えられて生きています。両親・家族であたり従業員、そして大切なお客様であります。その支えを見失しなう事なく“おかげさま”の心で歩み続けたいと思っております。

代表取締役 齋藤 千明

シリーズ① 第四話 親方の小言

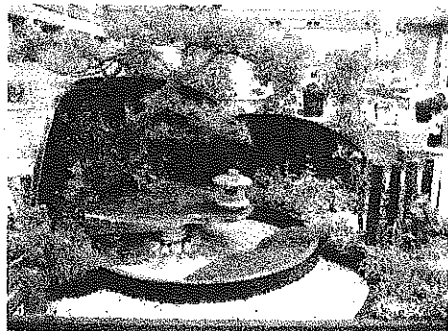


特集

とうほく蘭展&バラとガーデニングフェスタ
 ミニガーデコンテスト部門：河北賞受賞

とうほく蘭展&ガーデニングフェスタガーデニング部門にエントリーしたところ、おかげさまで最優秀河北賞を頂くことができました。この庭は、『円満』をテーマに古くて新しい現代日本庭園を提案する作品でした。空間を生かした引き算の演出がなされ、東北の豊かな春の命を表しています。

さらに、多くの皆様にご覧いただけますようにG3場内にてできる限り再現をいたしましたので、お近くをお通りの際はお立ち寄りください。



地球に染込む立水栓
 “井戸ポンプ”昔懐かし
 いと好評でした。



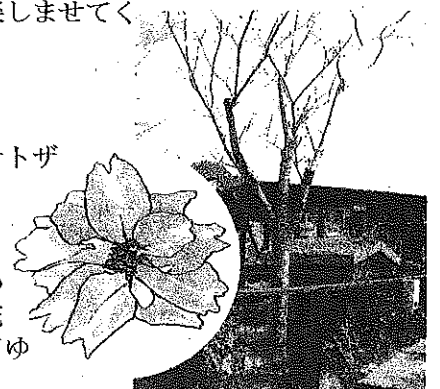
庭広場G3の
 フルニヤマト
 みどりの桜

春もよう

皆さん、緑色の桜をご覧になったことはありますか？
 実は展示場内に、1本だけあるんです。
 この桜は、その美しい風合いから貴人の衣服という意味の「御衣」をその名に冠して『御衣黄』ギョイコウと言う名の珍しい桜です。
 緑色の花なので実を言うと親方に聞くまで、お恥ずかしながら咲いているのに気がつきませんでした…
 今年も綺麗な花を楽しませてくれると思います。

特徴

オオシマザクラ系サトザクラの園芸品種。
 開花は4月下旬
 開花が進むにつれ
 花卉の中心に紅色の縦線が現れやがて花ごとポロリと散ってゆきます。



シリーズ2 庭づくり基礎と術

薔薇のお手入れ法

庭にたった一輪咲いただけで
まわりの空気を華やかにかえてしまう。
憧れのバラには限りない魅力があります。
今年は人気のバラを植えてみませんか?

四月 光合成が活発になるため、枝は伸長し、葉もどんどん広がってきます。古い枝から芽が動きだし、込み合ってくるので、早めに芽かきをしてどの芽にも日光を受けさせ同化作用ができるようにしましょう。接ぎ木された苗はコンテナや庭に移植できます。この場合、水やりと肥料をしっかりと行います。いつまでたっても花芽のつかない枝(ブラインド)は枝先から数えて葉を1~2枚つけているので、本葉のすぐ上で切ります。すると新たな芽が伸びて花芽をつけるようになります。

【新苗の植え方】赤玉(中粒)、腐葉土、牛ふん6:2:2で混ぜ、肥料を加えた用土を用意。穴から掘り出した土と用土1:1を更に混ぜて苗のつぎ目が地上に出るように植え、バケツ1杯の水をやりませ。固形肥料をまわりに置き、秋まで蕾は摘みとります。



●ROUTINE WORK
水やり一回数をさらに増やす
剪定一行わない
植えつけ-下旬から新苗の植えつけ
肥料-月1回の追肥
消毒-葉が動いたら薬剤予防散布

五月 いよいよ花が咲き乱れるシーズンですね。まず、つるバラから開花がはじまり、一季咲きのほとんどが、この時期に開花。四季咲きは秋よりこの時期の方が花つきがよいといえます。春は気温が高くなるので一斉に花が咲きはじめますが、2番花以降の花には高い気温は適さないで、気温の低い秋よりも早めに散ってしまいます。この時期、木は養分に富んでおり、結実も良いので交配適期です。下旬は次の芽を出させるため、肥料と水やりが必要になります。

【花がら摘み】花が終わりかけたら、5枚葉のすぐ上を切ります。枝がよく伸びていたら5枚葉を2~3枝つけ、長めに切ってもよいでしょう。
注:つるバラの場合は今年の枝に来年花が咲く性質なので、花首の部分か葉を1枚つけた下で切ります。



●ROUTINE WORK
水やり-コンテナ植えは毎日 庭植えは表面が乾いたら
剪定-一行わない
植えつけ-新苗の植えつけ適期
肥料-1番花のつぼみが色づいたら行わない
消毒-薬剤予防散布

六月 梅雨の時期は温度、湿度が上がるため、一年中で最も病害虫が発生しやすい季節。対策をしっかりと行います。花は終わり、枝やシュートを伸ばす栄養生長に変わる月。木の生長が最も活発なので、肥料は切らさないように。コンテナ植えはしっかりと水やりをし、庭植えは晴れ間にたっぷりとする。つるバラはこの時期に枝を伸ばすので養分の無駄使いを防ぐため、不必要な実は早めにとる。コンテナ植えは2番花から余分な養分の消費を防ぐため摘み、肥料と水やりをしましょう。

【シュートの処理】夏に近い時期に接ぎ口の上部から出る勢いのよい太い枝がシュート(葉の色が赤紫色をしているものが多い)。来年の主幹になる大切な枝です。6つの5枚葉を残して、そのすぐ上を摘み、秋までに枝を太らせます。
注:つるバラの場合、シュートはそのまま花を咲かせます。



●ROUTINE WORK
水やり-週1~2回
剪定-シュートの処理
植えつけ-鉢苗
肥料-お礼肥
消毒-薬剤予防散布

ワークショップの案内 街の森で学ぶ自然学習

どなたでも気軽に参加できる月に一度のワークショップです。「庭で戯れる」をテーマに石や植物などの自然素材を生かした作品づくりをします。毎日の忙しいことはちょっと忘れて、ゆったりと気の赴くままにチャレンジしてみませんか?興味がある教室がありましたらぜひ、ご参加ください。

●開講日/毎月1回(土曜日)
●時間/AM10:00~12:00
●会場/グリーンゲートガーデン内
●参加申込/要予約
TEL又はFAXで! 022-373-5554
*作品写真はイメージです。
作る時期によって使用する植物などが異なります。

4/22 陶芸 2000円

たったひとつの盆栽鉢を作りましょう。陶芸といっても作り方は幼い頃の粘土遊びと同じ、基本となるのは自分の手です。

●講師/宇野 清一郎氏 ●所要時間/2時間

5/20 草盆栽 1500円

清楚で素朴な山野草を中心に小石などの自然素材をうまく組み合わせ、身近な自然の景色を小さな鉢に表現します。

●所要時間/1時間 ●鉢付き

6/17 コケ玉 1500円

展示場内に準備してある植物とケト土を使い、手のひらサイズのガーデニングを楽しみます。
●所要時間/1時間

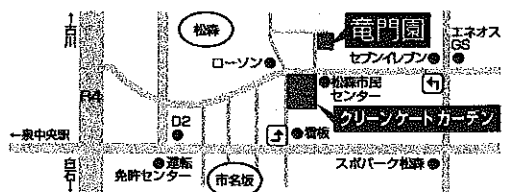
★出張ワークショップ10名様より承っております。

サマールメンバー大募集!!

定期的に会員制の教室を開催しています。盆栽や寄せ植え、オーナメントなどを楽しく手づくりします。詳しくは気軽にお問い合わせください。
●時間/AM10:00~12:00
●会場/グリーンゲートガーデン内
●受講料/1500円~2000円程度(作る物により異なります。)
●お問い合わせ/申込み/022-373-5554まで

発行 株式会社 竜門園
981-3111 宮城県仙台市泉区松森字前沼48-2
Tel. 022-373-3934
Fax. 022-375-9622
Email: info@ryumonen.co.jp
http://www.ryumonen.co.jp

庭広場 グリーンゲート ガーデン
981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字油田4-1
Tel&Fax. 022-373-5554
●営業時間/午前10時~午後5時
●定休日/毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌火曜日)
●入場料/無料・専用駐車場有



当社は、「庭」と「外構」の設計施工を行うプロショップです。どのような空間でも、お客様だけのオリジナルプランをご提案いたします。